

令和4年 7月～9月期 作州津山商工会管内景況（DI）調査

調査方法 専用ホームページ及び経営指導員による訪問調査

対象企業 作州津山商工会管内の小規模事業者 120 事業所

製造業	建設業	卸小売業	サービス業	合 計
24	31	29	36	120

調査結果の概要

＜全体 ～売上DI、採算DI、資金繰りDIが大幅に悪化～＞

第二四半期（前回調査）に比べ、採算DI・売上DIが大きく悪化、資金繰りDIも低水準が続いています。
今後の見通し（令和4年10～12月）は全体的に悪化の緩和が予測されています。

＜製造業 ～売上DIがさらに悪化。全体的に好転の見込み～＞

売上DIは▲29.2（前回25.0）、採算DIは▲37.5（前回▲33.3）、資金繰りDIは▲25.0（前回▲25.0）となりました。
今後の見通し（令和4年10～12月）は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

＜建設業 ～特に売上DIが悪化。売上DI・採算DIは好転の見込み～＞

売上DIは▲29.0（前回6.5）、採算DIは▲29.0（前回▲16.1）、資金繰りDIは3.2（前回▲6.5）となりました。
今後の見通し（令和4年10～12月）は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは維持の見込みにあります。

＜卸・小売業 ～売上DI、採算DI、資金繰りDIが大幅に悪化。全体的に好転の見込～＞

売上DIは▲41.4（前回▲0.0）、採算DIは▲41.4（前回▲34.5）、資金繰りDIは▲31.0（前回▲34.5）となりました。
今後の見通し（令和4年10～12月）は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは好転の見込みにあります。

＜サービス業 ～資金繰りが大きく悪化、今後の見通しは若干改善の予想～＞

売上DIは▲41.7（前回19.4）、採算DIは▲44.4（前回▲13.9）、資金繰りDIは▲30.6（前回▲8.3）となりました。
今後の見通し（令和4年10～12月）は売上DIは好転、採算DIは好転、資金繰りDIは悪化緩和の見込みにあります。

＜業種別業況＞

業種を問わず売上DI・採算DIにおいて極めて悪化しました。

＜時系列比較＞

売上DIは卸・小売業、サービス業において特に厳しい状況となりました。
採算DIも卸・小売業、サービス業において特に厳しい状況となりました。
資金繰りDIは建設業を除く業種で悪化しています。

＜業況変化の要因＞

販売や受注が増加したことで業績が向上している事業者があります。
悪化の要因としてコロナの長期化による販売額・受注件数の減少が高くなっています。

～業種別比較表～

○製造業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 3 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	-29.2	-12.5	-37.5	-4.2	-25.0
来季（見通し）比較 令和 4 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	12.5	-8.3	16.7	12.5	16.7

○建設業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 3 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	-29.0	-12.9	-29.0	19.4	3.2
来季（見通し）比較 令和 4 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	6.5	-9.7	6.5	12.9	3.2

○小売業

比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 3 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	-41.4	0.0	-41.4	27.6	-31.0
来季（見通し）比較 令和 4 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	20.7	-6.9	17.2	10.3	3.4

○サービス業

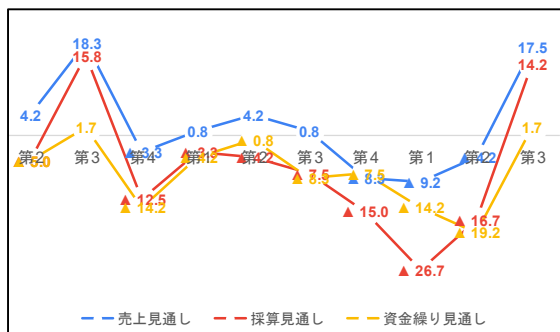
比較期間	状 況	売上高	仕入単価	採 算	労働力	資金繰り
前年同期比較 令和 3 年 7 月～9 月	天気図					
	D I	-41.7	-8.3	-44.4	13.9	-30.6
来季（見通し）比較 令和 4 年 10 月～12 月	天気図					
	D I	27.8	2.8	16.7	13.9	-11.1

～天気図の指標～

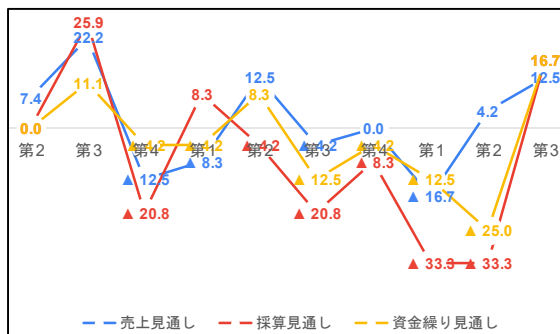
状 況	快晴	晴れ	曇	雨	雷
天気図					
D I	30～	10～	0	-10～	-30～

～グラフによる今後の見通し～

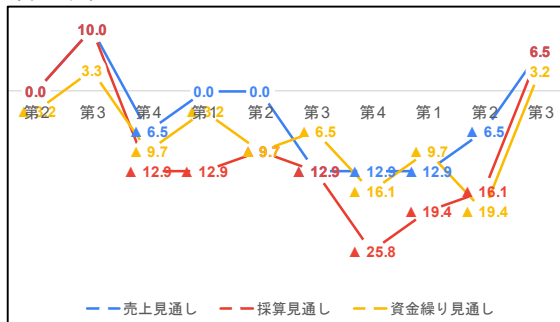
◎全体の売上・採算・資金繰り見通し



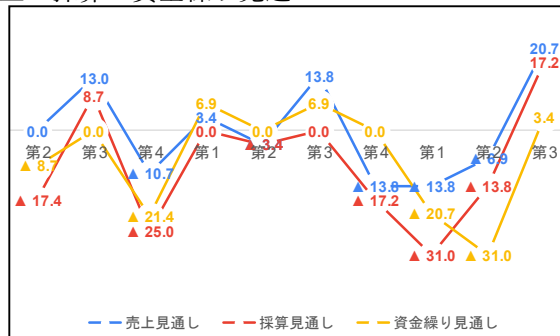
◎製造業の売上・採算・資金繰り見通し



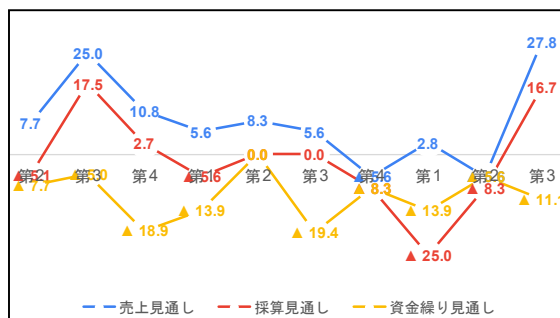
◎建設業の売上・採算・資金繰り見通し



◎卸・小売業の売上・採算・資金繰り見通し



◎サービス業の売上・採算・資金繰り見通し

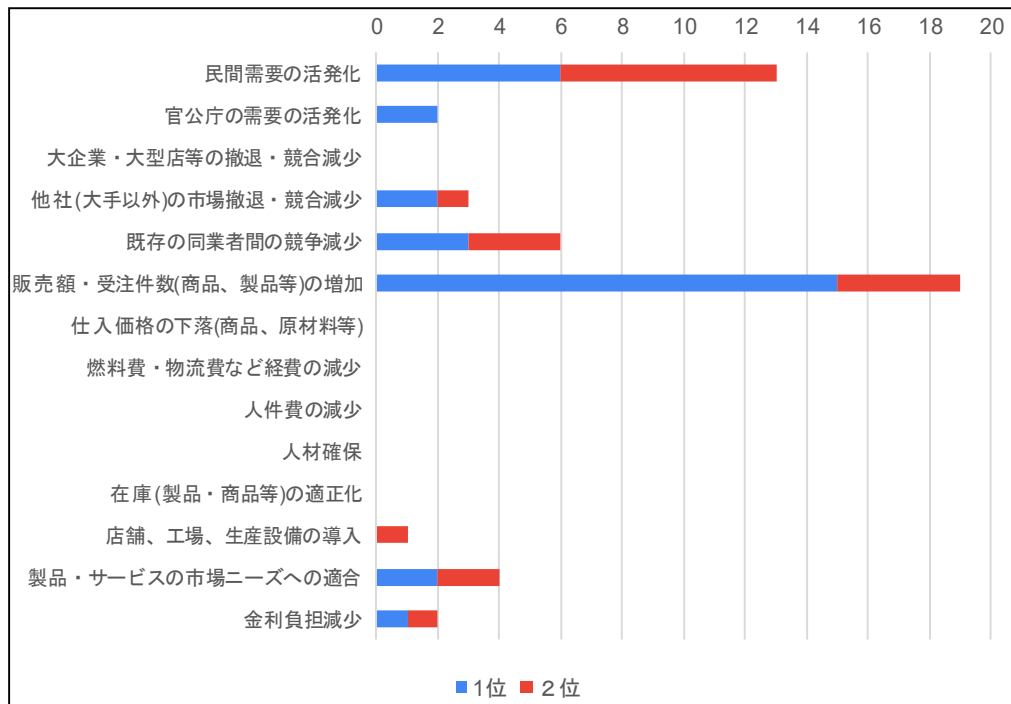


— 売上見通し — 採算見通し — 資金繰り見通し

○業況変化の要因

～景況が好転・増加した理由～

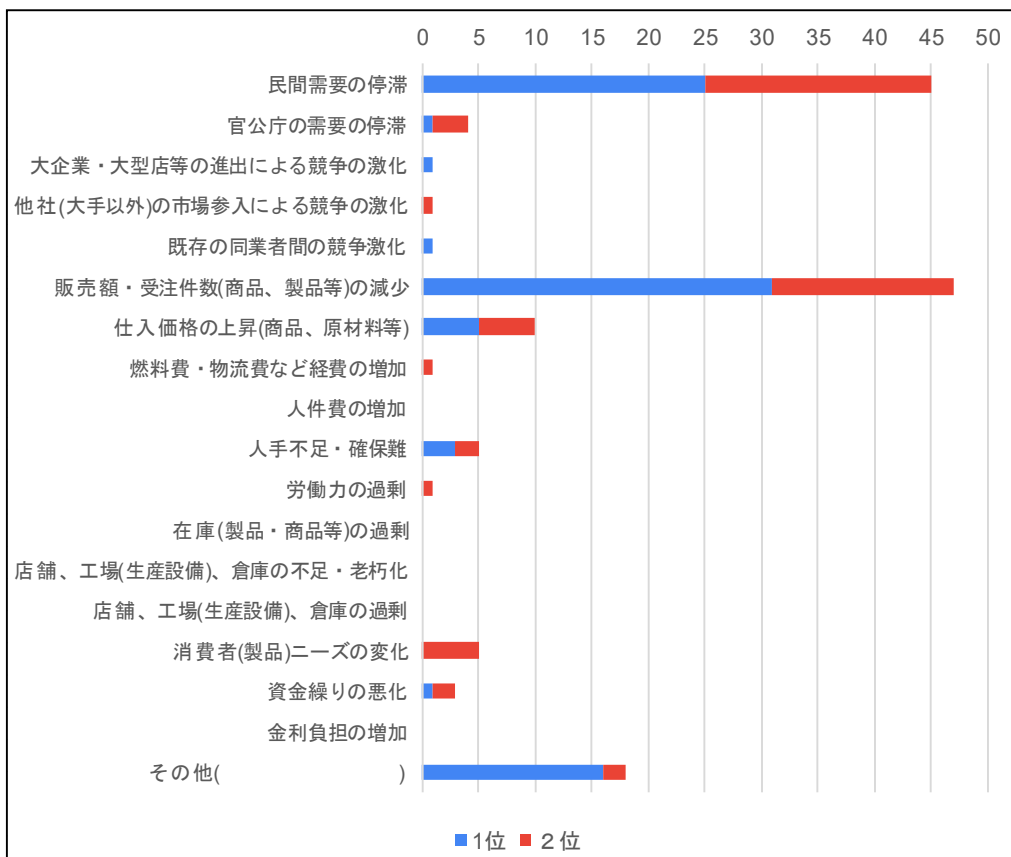
販売や受注が増加したことで業績が好転しています。



～景況が悪化した理由～

仕入れ価格上昇の影響が最上位となっています。

新型コロナウイルスの影響による販売・受注減の影響も続いています。



その他の具体的な要因

- ・コロナによる輸出制限、建設工事の停滞、来店頻度の減少、イベントの減少など
- ・代表者の入院などにより直接売上に影響している。